

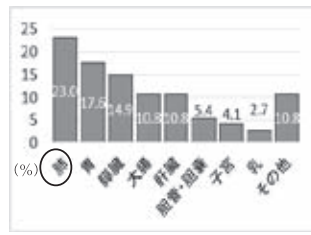
健康メモ

肺がん検診を受けましょう！

【肺がんはがんの中で死亡者が最も多い】

平成27年の全国のがん部位別死亡割合の第1位は肺がんです。和寒町においてもがん死亡者のうち肺がんで亡くなった人の割合は23%と最も高い状況です(図1)。

図1和寒町のがん部位別死亡率(H24~H28)



【肺がんの症状】

早期に自覚症状はほとんどなく、進行すると症状が現れます。

- 空せき
- 痰、血の混じった痰
- 熱が出る
- 胸の痛み
- 息切れ、息苦しい
- 体重減少



いずれも肺がん特有な症状ではなく、風邪などと混同されがちです。空せきなどが続く場合には医療機関を受診しましょう。

【早期発見には肺がん検診】

肺全体をエックス線で撮影する胸部レントゲン検査(肺がん検診)が有効です。直径2cm程度の初期のガンでも見つけられます。



- リスク要因
- ・喫煙、受動喫煙
 - ・遺伝
 - ・慢性閉塞性肺疾患(肺気腫など)
 - ・肺結核
 - ・大気汚染
 - ・放射線の被ばく
 - ・アスベスト

肺がんの最大の危険因子は喫煙です。喫煙指数が400以上などリスクの高い方は、痰の中にがん細胞が含まれていないかを調べる喀痰検査も合わせて受けることをお勧めします。

《喫煙指数の計算方法》

喫煙指数 = 1日のタバコの本数 × 喫煙年数

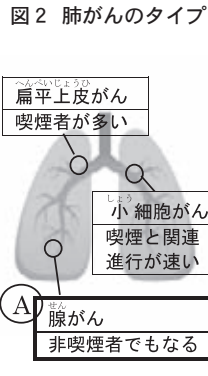
400以上	肺がん危険群
600以上	高度危険群
1200以上	こうとう喉頭がん高度危険群

【禁煙と検診が予防の力】

禁煙に挑戦する際には禁煙外来が成功率が高くおすすめです。町立和寒病院での禁煙治療には費用の一部助成もしています。



肺がんには、タバコを吸わない人にも起こるタイプがあります(図2)。喫煙の有無に関わらず定期的な検診が大切です。



【肺がん検診(胸部レントゲン検査)】

- 場所 町立和寒病院
 - 対象者 40歳以上の方
 - 料金 無料
- 病院スタッフまたは保健師までご連絡ください。(321-2000)
- 保健師 山田 汀那未

届出はお済みですか？

消費税

課税事業者の方へ

個人事業者の方で、新たに課税事業者(消費税の申告・納付が必要な方)となる場合には、名寄税務署に「消費税課税事業者届出書(基準期間用)」の提出が必要です。

課税事業者とは？

基準期間(その年の前々年)における課税売上高(消費税が課税される取引の売上金額と輸出取引等の免税売上金額の合計額)が1,000万円を超える方が該当します。

したがって、平成28年分の課税売上高が1,000万円を超えている方は、平成30年分の消費税の課税業者に該当します。

簡易課税制度

基準期間における課税売上高が5,000万円以下の方は、簡易課税制度を選択することができます。

なお、平成30年分から簡易課税制度を適用して申告する方は、平成29年12月31日までに「消費税簡易課税制度選択届出書」を名寄税務署に提出する必要があります。